

Ⅲ 調査事業の進捗状況

1 環境再生プロジェクト

経過

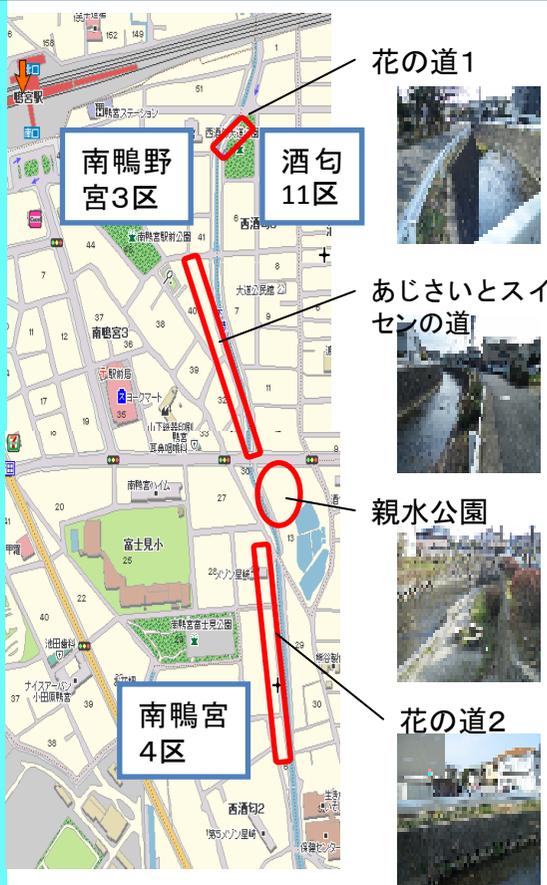
環境再生プロジェクトでは、①環境改善を果たし、②地域コミュニティの再生を目標に掲げている。

地域の環境課題の抽出にあたり、平成21年度には検討委員会を立ち上げ、フィールド調査及び検討を行った後、実証(モデル)事業の一般公募を行い、結果35の応募があった。

応募者とのプレゼンテーション等を実施し検討を行った結果、多くの市民・団体がかかわりを持てるような3分野の事業(①身近な河川、②身近な森林・荒地の再生、③地域資源による地域の活性化)を実証(モデル)事業とし、平成22年度の活動として進めている。

(1) 身近な河川

① 「下菊川花の散歩道計画」



花の道1



あじさいとスイセンの道



親水公園



花の道2



下菊川沿いの植栽、花植えを市民主体で実施し、大道公園での落ち葉の堆肥場を整備する。自治会・老人会などの地縁型とテーマ型のコミュニティの連携を図り、花の散歩道づくりを通じて、調整・仲介、連携機能を検証する。



間伐プランター



花植え会(2010. 10.19)

(2) 身近な森林・荒地

② 「手入れ不足の山林」

- 相続により山林の手入れが進まない問題や国産木材価格の低迷、ライフスタイルの変化により里地・里山の価値が衰退した山林を再生し、林業の振興への寄与を目指す。
下草刈り～除伐～選木～間伐イベント～植生調査～再生イメージのマニュアル化づくりを目標とした実践的な活動・講座等を通じて、新たな担い手の発掘・育成、間伐技術支援、材の利用法等について考える。
- 荻窪地区にある山林と里地里山の間にある私有林の手入れを通じたフィールドにおける環境改善活動の実践的な担い手養成



(2) 身近な森林・荒地

③ 「荒地の再生・活用」

- 高齢化や少世帯数により、和留沢地域には荒地が目立つが、市民の手で再生・活用する。
- 地域コミュニティと意欲ある市民団体(NPOなど)との連携により、地域課題に取り組む。
- 様々な土地利用策をもとに、地域に合った計画づくりのため、地域の総意を形成する調整・仲介、ネットワーク化を検証する。



「緑の分権改革」調査事業



小田原市

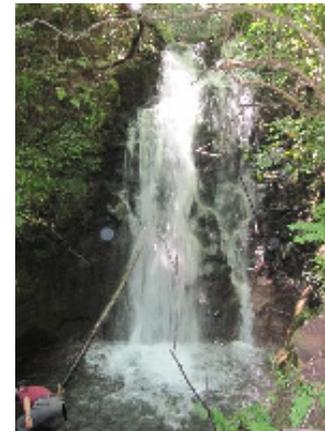
(3) 地域資源(地域活性化)

④ 白糸川の滝の散策路

- 片浦の観光資源の活用とホテルをはじめとした白糸川の自然環境の再生を図り、白糸川を軸とした根府川地区の観光誘致に取り組む。
- 白糸川沿いにある7つの滝を巡る散策路を整備し、既存の観光施設やイベント、地域資源との連携を図る。



「緑の分権改革」調査事業



小田原市

2 生ごみ堆肥化

⑤ 生ごみ堆肥化(実証実験)

経過

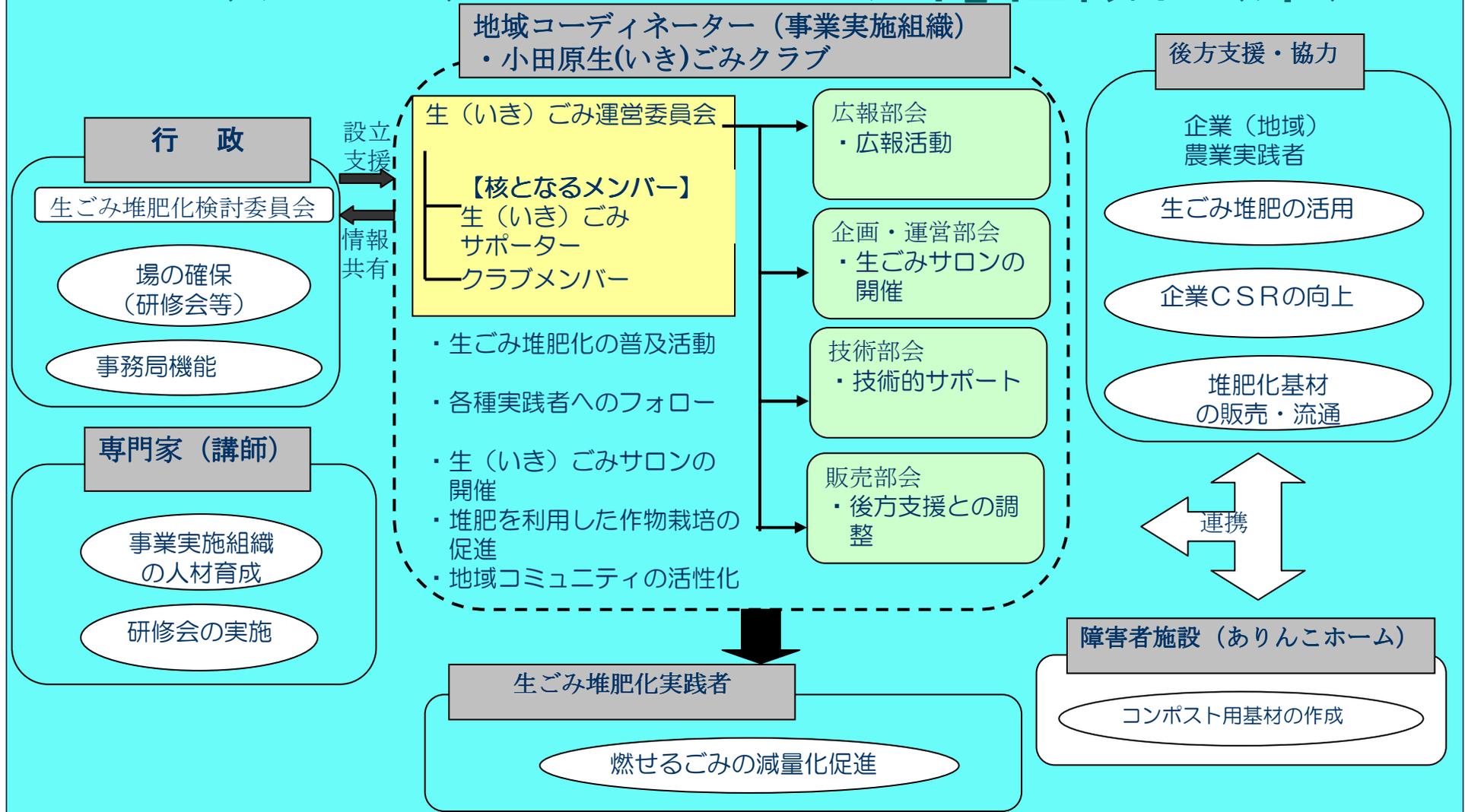
生ごみ堆肥化では、意欲ある市民の発掘・育成を通じた地域の身近な環境改善の取り組みとして、環境再生プロジェクトのうち、生ごみ堆肥化部分のみを別の検討委員会を立ち上げて検討を進めている。

平成21年度に検討委員会を立ち上げ、先進事例調査、地域内循環の仕組みづくりを検討し、家庭での取り組み、地域での取り組みをまとめた。

平成22年度は、①ダンボールコンポスト等による家庭での取り組み、②モデルとなる小学校区における地域における取り組み、実証実験として活動として進めている。

意欲ある市民が市との対等なパートナーシップを形成し、緩やかなネットワーク化・プラットフォームの形成、組織化を促進する。

「(テーマ)ごみコミュニティ」組織化(案)



⑥ 緩やかな連携

● プラットフォーム形成へのプロセス

- ① 個々がバラバラに課題へ取り組んでいる
(小田原の環境課題の全体像を認識する)
- ② 連携・協調することで個々の課題への取り組み
(実証事業(モデル)事業の実践を通じて)
- ③ つなぐプラットフォームによる情報の共有
(仕組みの骨格づくりのための課題の検証)
- ④ 地域ブランドしての情報発信

● 自然環境情報調査 「環境マップづくり」

目標

- 環境活動団体、活動状況の棚卸しを行い、団体と活動のマップの作成を目標とする。
 - ⇒環境改善活動団体等とその活動内容
 - ⇒市内小学校等で実施している下菊川調査を環境学習の一環として、「子ども調査マップ」(学年又はクラス単位の活動マップ)を作成

● ネットワーク形成・担い手の養成 (仮称)エコシティ・フォーラム(フェア)

目的:

各種テーマごとの担い手養成講座の総決算として、基調講演を通じて、小田原市の環境政策や環境分野に取り組む団体・NPOの活動を広く伝えるとともに、市民の環境改善や地域活性化に対する動機付けを参加型の分科会を行い、ネットワーク形成(プラットフォーム)の意義を伝え、小田原地域が目指す環境(エコ)シティのビジョンを共有する。

- 1 日時 2011年3月13日(日)10:00~15:00
- 2 場所 小田原市川東タウンセンターマロニエ)
- 2 テーマ 「うるおう循環都市 -すべてがつながりあうまち-
環境政策の目指す姿と現在の取り組みを紹介し、協働を広く市民に呼びかける。
- 3 内容
 - (1)基調講演 (40分~50分×2講演)
 - ア 他地域での先進事例の発表
 - イ 小田原市の環境改善取り組みの事例発表:行政、検討委員会もしくは活動団体(無尽蔵プロジェクト「環境シティ」、生ごみ堆肥化、環境再生プロジェクト)
 - (2)分科会・ワークショップ(60分~80分×6テーマ ※ 2~3カ所にて同時並行